

森を支える社会づくり

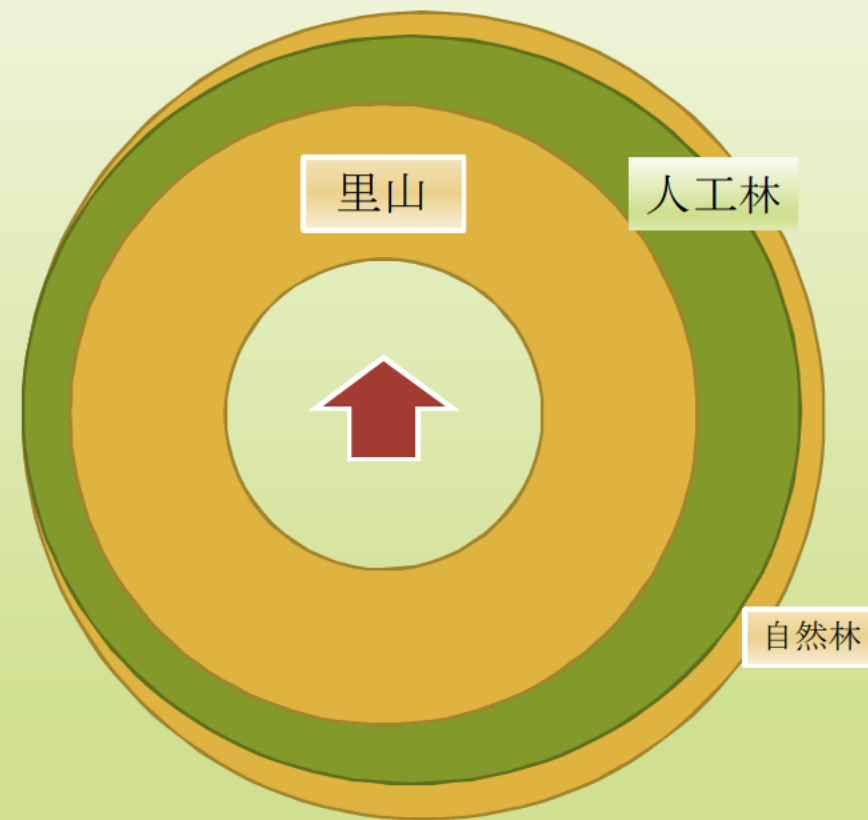
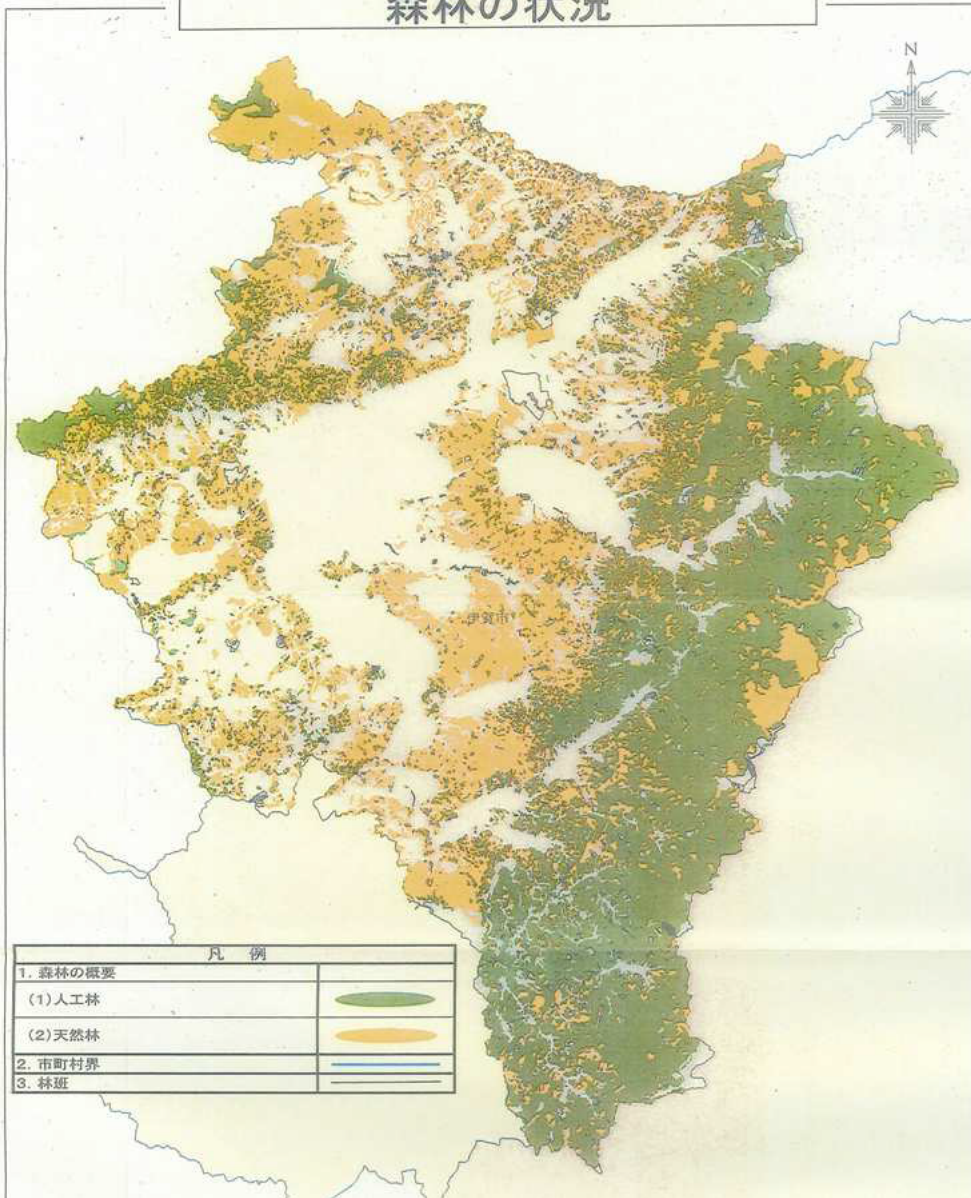
みえ森と緑の県民税市町交付金事業(伊賀市)

いがの森の特徴

1. 四方を森林に囲まれて、比較的なだらか。
2. 水源として、薪炭林として、人々に森の恵みをもたらしてきた。
3. 古くから人と森との関わりが深く、森林を所有している市民も多い。

昔から人のくらしとつながってきた森

伊賀市森林整備計画概要図 森林の状況



森とのつながり(里山)

- 人との密接なつながりのあった里山

生活スタイルの
変化

- ①森とのつながりが薄れ利用されなく
- ②里山の荒廃が進み放置竹林増加
- ③住民の生活に影響をおよぼす



森とのつながり(人工林)

- 所有者により大切に育てられた林

小規模のため
非効率的

- ① 林業の低迷
- ② 森林・林業に対する関心の薄れ
- ③ 後継者不足、境界不明、荒廃



森を身近に感じ、つながりを回復する必要がある。



伊賀市のみえ森と緑の県民税市町交付金事業



木育のきっかけ

- 伊賀市ウッドスタート事業



森林環境教育

- 伊賀の森っこ育成推進事業



地域のつながり

- 地域の森と緑つながり支援事業



森を育む社会

- みんなの里山整備活動推進事業

伊賀市ウッドスタート事業

【事業の実績と効果】

- ・1歳半健診時 木のスプーン826本 ・3歳児健診時 木のお箸915膳
- 健診時に保健士から木育チラシや木製スプーンを配布。
- 幼児期から親子で木とのふれあう「木育」と「食育」
- ・子育て支援センター市内9箇所 木の積み木等配置



木のぬくもりに触れながら 子育てしませんか？

木育

“木を切ること”は“森林破壊”でしょうか？

じつは、森を健康に保つには、ある程度木を切り出すことが必要なんです。私たちに身近な森でも、木が切られず、真っ暗になって飛れてしまったところが増えていきます。

「地域の木の製品を使うことは、地域の森を守ること」

そんなことを、木のおもちゃで遊んだり、木製の暮らしの道具を使ってみたり、木で何かをつくったり・・・といった木とのふれあいを通じて、考えるきっかけにしようというのが「木育」です。



ウッドスタート ～親子ではじめる木育～

“赤ちゃんの頃から、木のぬくもりに触れよう”というのが「ウッドスタート」です。親子での木とのふれあいは、赤ちゃんだけでなく、おとうさん、おかあさんもやさしい気持ちにしてくれるはずです♪



伊賀市では「木育」×「食育」を組み合わせ、心と体の健全育成をお手伝いできたと願っています。

木育情報

- ・林野庁・こども森林館 林野庁 <http://www.rinya.maff.go.jp/kids/>
- ・木育.jp 特定非営利活動法人活木活木(いきいき)森ネットワーク <http://www.mokuiku.jp>
- ・木づかい.com-国産材を使って減らそうCO2- <http://www.kidukai.com/>
- ・三重県上野森林公園 住所 伊賀市下友生松ヶ谷1 <http://www.s-net.or.jp/user/mysanofe>
- ・三重の森林づくり <http://www.prf.mlc.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/>



参考、引用
特定非営利活動法人活木活木(いきいき)森ネットワーク <http://www.mokuiku.jp>、林野庁ホームページ www.rinya.maff.go.jp/

伊賀の森っこ育成推進事業

【事業の実績と効果】

・市内小学校14校 64学級 参加児童数1,037人
フィールドにおいて「森のせんせい」などの外部講師から、森のはたらきや林業について学ぶことができた。



地域の森と緑のつながり支援事業

【事業の実績と効果】

・地域の6団体(補助事業費243千円)

地域主催による、自然学習会や椎茸菌打ち体験、森林整備に関する学習会などが開催された。



みんなの里山整備活動推進事業

【事業の実績と効果】

- ・活動団体数 : 19団体
- ・活動参加者延べ人数 : 887人

既存の森林整備事業では整備が難しい、暮らしに身近な里山や竹林の整備ができた。

地域住民の手で再生していくため、地域住民の里山や緑の環境についての関心が高まった。



高山地区で『みんなの里山整備』

みえ森と緑の県民税市町村交付金を活用

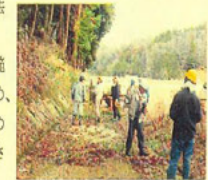


高山地区でこのほど、『みんなの里山整備活動』が行なわれました。

この事業は三重県が創設した「みえ森と緑の県民税市町村交付金」を活用し、地域に身近な里山を整備し、良好な環境を次世代に引き継ぐことを目的に、住民のボランティアによって道路の通行確保、景観整備、猿・鹿・猪などの隠れ場所の除去を行うものです。



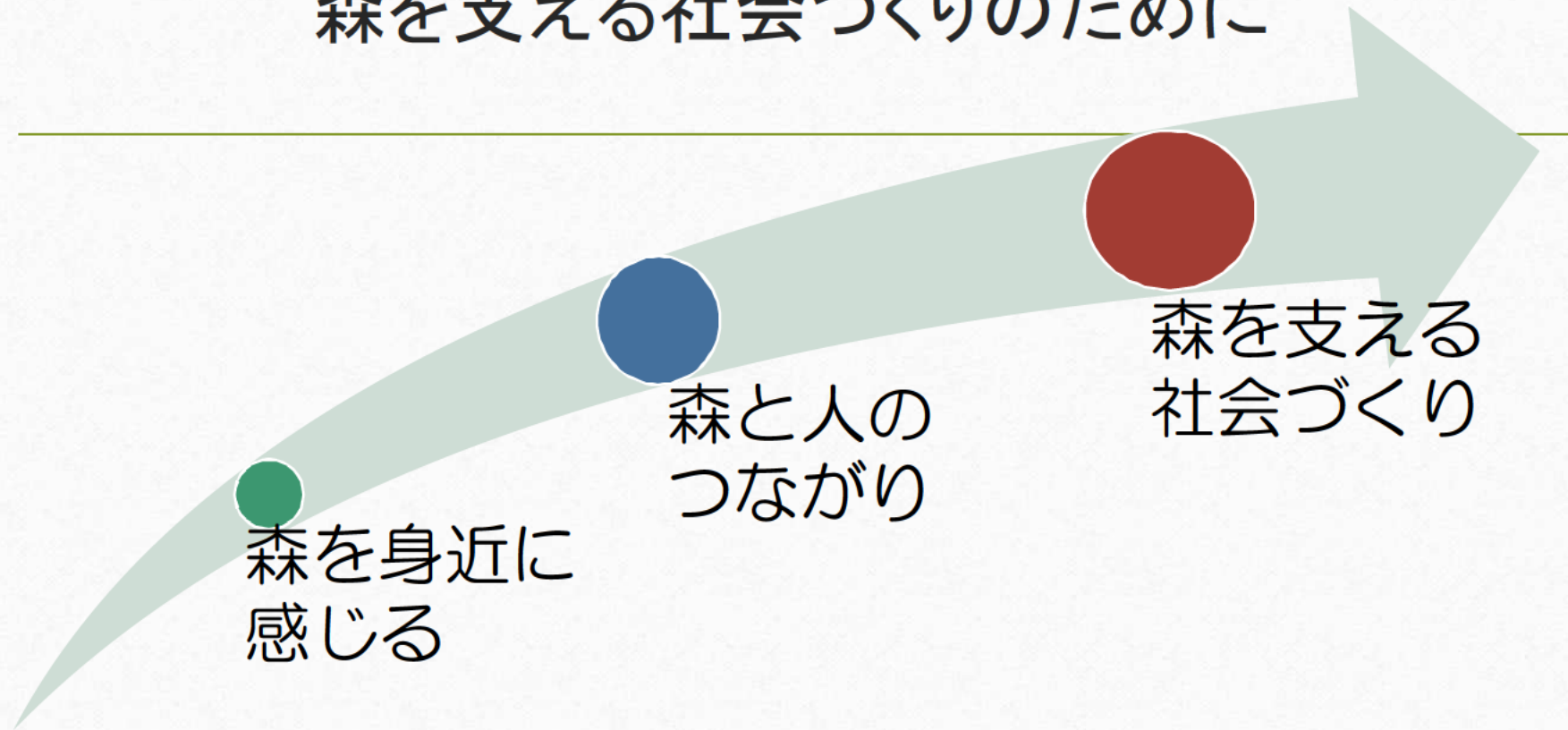
作業は、あらかじめ範囲や役割分担などを決め、安全確認の監視役も決めて2日にわたって実施されました。

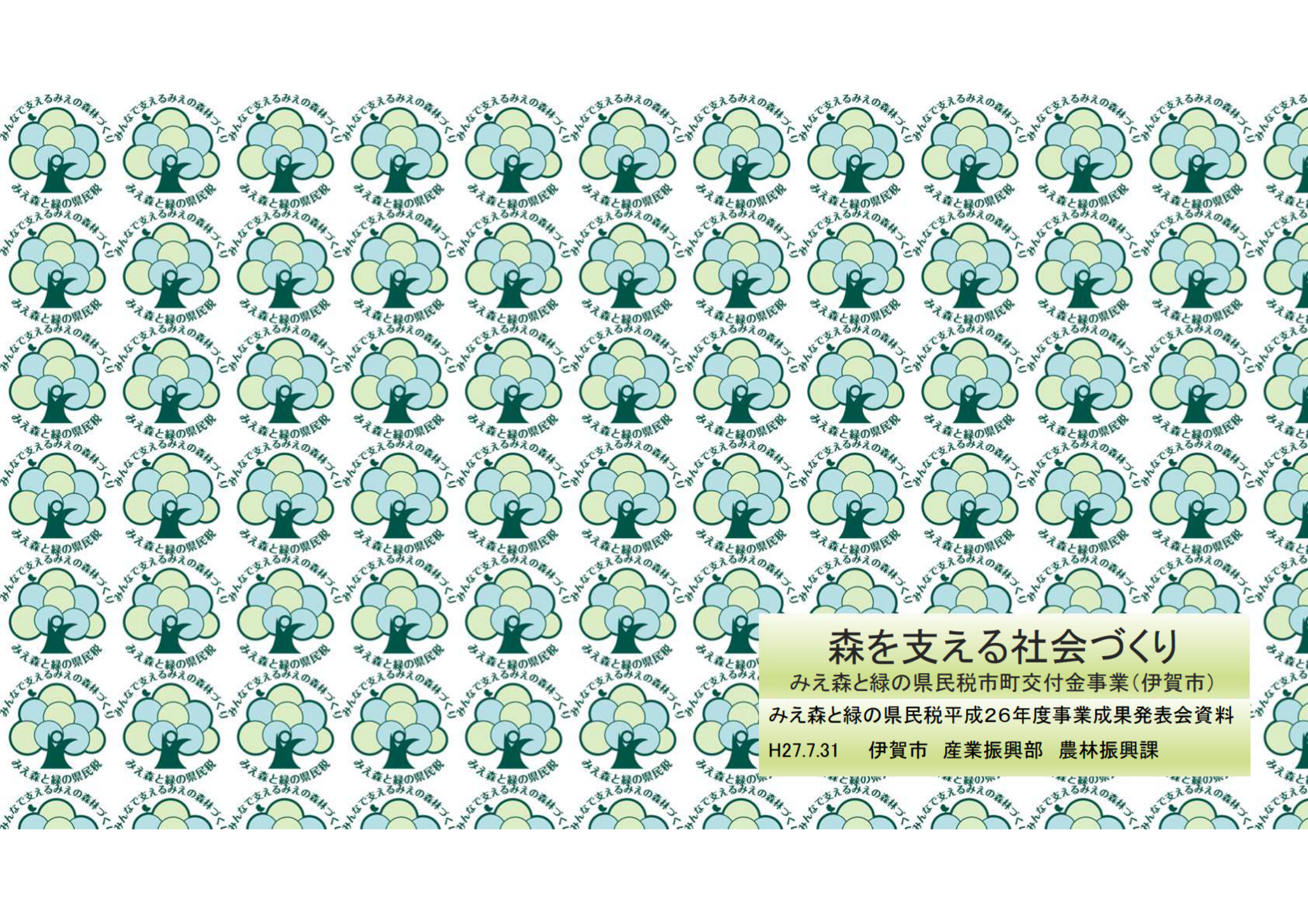


整備された箇所は、道路に覆い被さっていた雑木が伐採され、見違えるほど環境がよくなり、参加者相互の安全確認などを通して、助け合いの精神や地域づくりの機運が芽生えるきっかけにもなり、思わぬ効果もあったようです。

(写真左上は伐採した雑木の玉切り、左下は作業前の打合せ、右は整備箇所の方付け作業の様子)

森を支える社会づくりのために





森を支える社会づくり

みえ森と緑の県民税市町交付金事業(伊賀市)

みえ森と緑の県民税平成26年度事業成果発表会資料

H27.7.31 伊賀市 産業振興部 農林振興課